

## 平成19年度当初予算 施策別概要

### 442 水資源の確保と効率的な 総合利用

44201 水資源の確保と有効活用 (政策部)  
44202 水の安全・安定供給 (企業庁)

(主担当部：政策部)

#### < 施策の目的 >

(対象) 県民が

(意図) いつでも安心して水を安定的に使用することができる

#### < 施策の数値目標 >

施策目標 項目 (主指標)	飲料水の供給に対する満足度	目標値	60.0%
		現状値	56.5%

日常生活に欠かせない飲料水が安心して飲め、安定的に供給されることに満足している県民の割合(一万人アンケート)

県の取組 目標項目 (副指標)	水道普及率	目標値	99.3%
		現状値	99.1% (2005年度)

#### < 現状と課題 >

- ・近年の水資源の状況は、少雨化に加えて雨の降り方が大きく変化してきていることから、水源の供給能力が低下してきており渇水が頻発するようになってきています。また、水質面では、生活排水等による河川・湖沼の汚濁、富栄養化等の問題が生じています。
- ・一方、県民からは、飲料水について、安全性、快適性、安定供給が求められています。このため、水源の汚濁対策に万全を期し、より安全な水に向けた取組や、渇水時や地震等の非常時においても可能な限り影響を最小に抑え、安定して水を供給するための取組が必要となってきています。県内人口がまもなく減少に転じることが推測され、水需要の伸びは見込めない状況の中で、水道事業については施設の更新時期を迎えるなどその経営環境は厳しさを増してきており、今後需要者の要求に的確に答えていくためには、より一層の経営基盤の強化に取り組む必要があります。

#### < 平成19年度の取組方向 >

庁内の水資源関係部局と、未利用水の利用方策について検討を進めるとともに、水資源機構への建設割賦負担金の軽減化策等について取り組んでいきます。

徳山ダムについては、関係機関と連携をはかりながらダム事業の完成とコスト縮減に向けて取り組みます。

川上ダムについては、関係機関と連携をはかりながらダム本体工事の早期着手や負担軽減に取り組んでいきます。

水道用水及び工業用水の安定供給を維持しながらコスト縮減や効率的な事業運営をはかるとともに、危機管理体制の強化に向けて取り組んでいきます。

水道の広域的整備を推進し、水道未普及地域を解消するとともに、安定供給の確保に向け取り組みます。

<主な事業>

水道事業会計支出金【基本事業名：44202 水の安全・安定供給】

当初予算額： 4,067,013千円 3,426,874千円

事業概要：水道料金の低廉化をはかるため、水道水源開発及び広域化対策に対し、一般会計から水道事業会計に繰出しを行います。

伊賀広域水道建設費【基本事業名：44202 水の安全・安定供給】

当初予算額： 5,004,560千円 3,806,624千円

事業概要：三重県西部広域圏広域的水道整備計画に基づき、伊賀地域の水需要に対応するための広域水道を整備します。

北伊勢工業用水道改良費【基本事業名：44202 水の安全・安定供給】

当初予算額： 2,017,288千円 1,630,963千円

事業概要：工業用水を安定的に供給できる施設機能を維持するため、施設の更新や改良を行います。

多度工業用水道改良費【基本事業名：44202 水の安全・安定供給】

当初予算額： 286,329千円 151,531千円

事業概要：工業用水を安定的に供給できる施設機能を維持するため、施設の更新や改良を行います。